

特集「昆虫調査」 来年に向けていろいろな調査方法にチャレンジ！

いろいろな調査方法を試行

7月の昆虫調査では、これまで通りのホイホイトラップとピットフォールトラップに加えて、ライトトラップとルート観察、ピーティングといろいろな調査方法にチャレンジしました。

例年より1週間遅らせて、7月は夏休み第一週にすることでバンガローでの宿泊が可能となりました。

しかしながら、予想に反して参加者が少なく、天気が良かった割に思っていたほどは調査がはかどらない結果となり、来年へ課題が残りました。

いろいろな調査方法を行なうにはそれなりの人員が必要だと痛感しました。



最も成果の大きかったライトトラップ

昨年、古藤先生と一緒に行ったライトトラップは今年はスケジュールの都合上、森会メンバーのみでの実施となりましたが、昨年の経験を活かして短い時間ながら24種類の昆虫を同定できました。

同定できた昆虫は以下の通りです。

コウチュウ目：ノコギリカミキリ、ナガゴマフカミキリ、ヤツカミキリ、コフキコガネ、シロスジコガネ、クロコガネ、ツヤコガネ、ドウコガネブイブイ、キマワリ、ナミテントウ、フタモンツツヒゲナガゾウムシ、キボシアオゴミシなど

カメムシ目：ニイニゼミ、ヒグラシ、コガシラアワフキなど

その他：ヘビトンボ、アオスジアオリガ、ウシアブなど

トラップでは残念ながらほぼ回収なし・・・原因はこれまでも森会で設置したトラップを勝手に開けてしまうトラップ荒らしの被害はあり、都度、設置方法を工夫して対処してきましたが、今回はそんな工夫も全く役に立たずほぼ全滅となりました。

一部トラップについては取り外されており、脚立で高所に設置しているにも関わらずどうやって取り外したのか不明な状態です。

そのため、8月の調査ではトラップを諦めて、他の調査のみ実施することにしました。

長く続けてきた調査方法でしたが、今後の実施については再検討をしていきます。



ルート観察でも多くの種類を同定

しばらくの間は参加者一人につき、毎回 2~3 種類の同定と撮影を行なってもらう予定でしたが、今回は 7 月、8 月ともに参加者が少ないこともあり、一人 6~7 種類ほどと頑張ってもらいました。

これまでも、イベントでは一般参加者の方とルート観察を行ってきましたが、調査としての実施だと撮影が必要になるため、思ったよりも時間が必要でした。

撮影の難しい飛翔系昆虫については撮影の技術向上に加えて、撮影機器についてもデジカメだけでなくビデオカメラを併用するなど今後は検討していきます。

同定できた昆虫は以下の通りです。

コウチュウ目:カブトムシ(♂♀)、ノキリクワガタ(♂)、コクワガタ(♂♀)、ミヤマクワガタ(♂)、フタモンウバタマ、ヒメクオロシジミなど

チョウ目:ゴマダラキチョウ、キチョウ、イチモンジチョウ、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、カラスアゲハなど

バッタ目:ショウリョウバッタ、クルマバッタ、クサキリ、ササキリ、フキバッタ、ツチイナゴなど

カメシ目:アブラゼミ、ニイゼミ、ツマグロオオヨコバイなど

その他:オオスズメバチ、ウスバカゲロウ、アシナガバエ、ナツアカネ、オオツトシホなど



同定できた個体でカブ森昆虫図鑑を作成中

現在は表示項目のみ 6 項目決めましたが、どのような感じにするかは検討中です。

今後詳細は決めていきますが、同定と撮影は早くも 70 種類を超えました。

ややピンボケの写真もありますが、この調子でまずは 200 種類を来年の目標にしていきます。

ある程度詳細が決まりましたら自然観察センターで閲覧できるようにしていきたいと思います。

//////////////////////最後に////////////////////////////////////

2005 年から開始した甲虫調査は今年で 9 年目になります。

今年度からは「昆虫調査」として装いも新たにカブ森の昆虫層を探り始めました。

まだまだ人員不足ですので昆虫に少しでも興味がある方にご入会いただければもっと充実した調査も可能ですのでこれを読まれた方はぜひ入会をご検討ください。最後にご協力いただいた皆様誠にありがとうございました！

Special Thanks! (文責:世話役 新牛込誠)

